



受教総第 1944 号
平成 27 年 2 月 12 日

琴浦町代表監査委員 松田道昭 様

琴浦町教育委員会教育長 小林克美



定期監査指摘事項「公立学校教職員の長時間労働縮減」について（報告）

平成 26 年 12 月 25 日付発監第 50 号をもって提出のあった標記のことにつきまして、下記のとおり報告いたします。

記

1. 基本的認識

学校教職員の長時間労働・多忙感の課題については、「教職員勤務実態調査」（平成 18 文科省）を行うなど、全国的課題と捉えられています。鳥取県教育委員会においても「教職員いきいきプロジェクトチーム」を構成し、課題解決に向けた取り組みが進められています。琴浦町教育委員会では学校計画訪問、月例校長会等により教育現場の状況を聞き取り、課題対応を図っているところです。

2. 勤務実態把握

学校勤務時間については、施錠時間管理で知ることができます。22 時以降の施錠記録も頻繁に見受けられることから、かなりの持ち帰り仕事があることも推し量る事ができます。

背景には、昼間は児童生徒と向き合う時間を大切に、教材研究、事務報告が生徒下校後の時間に行わざるを得ない状況があると思量します。

このことは学校長からの報告や現場聞き取りからも理解できます。

3. 課題対応

教職員の人的体制整備が大きな要素です。少人数学級の実現は、教職員一人当たりの負担軽減に役立ちます。町としては県へ負担金を支出し、具現化を図っています。また特別支援教育支援員として町講師を雇用加配し体制を整えています。

